

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 272 号 2020.12.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

TOREK 東中野頒布会！宅配

12月13日(日)、宅配便での「自然農法頒布会」を大勢の方のご協力の中させていただきました。

堀さんの納豆、山本さんのワクチン・抗生物質不使用の卵、ジョリフィーユのクッキー、8~9品の彩り豊かな野菜をセットにし、さらに希望者には堀さんのお米も加えて、40軒と3グループに発送いたしました。喜びの声を寄せいただきましたので、ご紹介いたします。

「こんな美しいお野菜をひとりじめするのは申し訳ないので、親せきと気になっている方にもおすそ分けしたいと思い、早速、送る約束をしました。生産者やスタッフの皆様の真心、染み入りました」

ある方は、ご主人が「素材そのままのほうがおいしい。とても贅沢な食事。葉玉ねぎを初めて食べて、これが一番感動した」と喜んでいただくと、お野菜たっぷりの食卓の写真も添えて送っていただきました。

「お野菜たくさんで感激でした。とても色が良くて(自然というか)育ちがよい?! というか、丁寧に生きてきた?! というか、美しかったです」

「ほうれん草を味噌汁に入れ、シャキシャキとして驚き、美味しく、自然農法のほうれん草は初体験。箱を開けてうわあ感動し、触って、生産者の方に感謝して、野菜と記念写真を撮りました」

などなど書ききれないほどたくさんの感謝と喜びの声を頂きました。

生産者の方々に感想をお伝えすると、「喜んでいただけてうれしいです。励みになります」「それは良かった!」と喜んでいただき、パイプ役として携わらせていただいたスタッフも幸せな気持ちにしていただけで、自然農法に感謝でいっぱいになりました。ありがとうございました!(スタッフ 藤井千亜紀)



自然農法 22年の歩み① 千葉県 金野哲士

自然農法を始めて22年になります。きっかけは高齢の母が、借りていた20坪の畑をやめるとのこと、それじゃあ私が自然農法でやってみようじゃないかと、趣味のゴルフクラブをクワに持ち替えてスタートしました。

農業経験がないので、図書館で農業に関する本を借り、作付けや技術的なことを学び、試行錯誤しながら、自然農法の実践を始めました。

翌年、隣の20坪の畑が空き、また翌年に反対の隣の20坪、さらに20坪、また20坪と地続きで100坪の広さになり、野菜の種類、作付けの量を増やせることになりました。そうなってくると畑作業が楽しくなってきた、通勤ラッシュがつかなくなった電車の時間もあれこれ考えると楽しく感じ、作業のできる週末が待ち遠しかったことを思い出します。

ほうれん草が好きで、何度も何度も栽培を試みたのですが、芽が出て途中で消えてしまったりと、うまくいかず、もうやるまいと思っていたころがありました。そんな折、長男のお嫁さんが妊娠し、検査で鉄分が不足していて補わなければならないという状況になり、それなら鉄分の多いほうれん草が一番と、再度挑戦しました。思いが通じたのか、たくさん取れて食べてもらうことができ、うれしかったです。また、販売もすることができ、このとき、あきらめずに続けることの大切さを学びました。



この畑で3~4年続けましたが、もっと規模を広げられたらと思うようになってきたとき、息子の会社の同僚が、約230坪の畑を貸してくれることになりました。車で30分くらいの所なので、頻りに通わなくても栽培できる作物、サツマイモや玉ねぎ、ジャガイモ、里芋などを作付けできるようになり、一時期、玉ねぎを妻と2人で8000本植えたこともありました。このころから、八王子や頒布会で販売させていただけるようになりました。

しかし4、5年後に畑を返してほしいと言われ、次なる畑を探さない、と思っていた矢先、自宅から車で10分以内の場所で150坪ほどでしたが、すぐ借りられることになり、頻りに足を運べる利便性が良く、今まで手掛けてこなかった葉物や夏野菜などの種類を増やしました。そうするとまた、サツマイモや玉ねぎ、じゃがいも、里芋などを作付けできる畑はないものかと、友人に相談したところ、250坪くらいの畑を借りられることになりました。車で30分くらいの所なので、近い畑と遠い畑で作物を分けて栽培し、その後さらに150坪借りられることができ、合計4カ所になりました。

働きながらの農作業が10年経ったころ、60歳を迎えました。作業が追いつかない状況でしたので、自然農法に専念しようと思いたち、定年退職を宣言しました。しかし、囑託としてそのまま取引先との業務を続けることになり、ほとんど出社せず、顧客や協力会社とのやりとりは畑作業をしながらこなし、それが今でも続いています。

頒布会や販売会に出品、参加させていただくよう心がけ、来場された方々を見ておきますと、ずいぶんと参考になりますし、安心安全な野菜は当然ですが、おいしかった、きれいな野菜ですね、などの報告や感想を頂くと励みになり、これからも頑張ろうという意欲がわいてきます。

しかし畑が4カ所、1カ所に集約できると、細部に目が届き、作業効率が良く、体力的にも楽になると思い始めていたころ、自然農法の志をもつ仲間であり友人の齊藤一之さんから、彼のいとこの方の所有している300坪ほどの休耕地があるので、1カ所でやってみたらという提案を頂きました。

見に行ったところ、畑全体に大人の背丈ほどの木立のような雑草がびっしり生い茂っていて、無理だなどと思っていると、そこはゴルフ場の裏側に位置しているのですが、そのゴルフ場を管理している造園業者の社長さんが通りかかり、雑草を刈りましようかと持ちかけてくれました。(以下次号へつづく)

胃腸の腫瘍に卵かけおかゆ!

東京都 漆山利子



胃と十二指腸に腫瘍があり、食事をすると、胃の中ですまるような感じで、吸収することができず、逆流を起こし、おう吐が続きました。食事の量ももどンドン減ってしまいました。

7月より、木島平の堀さんに自宅へ自然米を送っていただき、朝食と夕食は自然米のおかゆを食べるように心掛けました。

◎朝食 山本さんの生卵・納豆(ひきわりにする)・しらす・鰹節を入れた自然米のおかゆ、自然米・こうじ・紅麴で作った甘酒に豆乳を入れた飲み物

◎昼食 ジョリフィーユのマドレーヌ、プリン、カステラ類、ほうじ茶

◎夕食 卵かけ自然米おかゆ、野菜の煮物、茶碗蒸、ヨーグルト

3ヵ月間、ほぼ同じメニューで、できるだけ自然農法のもので、やわらかいものを食するよう心掛けました。胃にすんなりおさまって、吐くことがなくなり、吸収が良くなり、おかげさまで34キロになった体重も47キロまで増えました。医師より悪性の可能性が高いと言われた腫瘍も、そうではなく、徐々に小さくなっており、とても有り難いです。今では普通食を食べられるようになり、体調も良くなりました。

生産者の皆様、ありがとうございました。

お知らせ (変更の可能性あります)

★ 自然農法頒布会 1月27日(水) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>